



## 通所支援事業の ひとコマ

## 秋を満喫!?

世間では様々なイベントが中止になっていますが、通所支援では利用者の皆さんに少しでも季節の移り変わりを味わっていただこうと、さまざまなイベントを計画しています。散歩では花を見たり、車椅子で木の実を踏んでガタガタと感触を味わったり…とさまざまな体験をします。もちろん、10月には秋の風物詩?!であるハロウィンもしました。

ハロウィンといえば、仮装と「トリックオアトリート!」の言葉ではないでしょうか。通所支援の利用者の皆さんも帽子をかぶったり、ステッキを持ったり、マントを羽織ったりして仮装し、病院内を散歩しました。せっかくの衣装だったので、地域連携室にお邪魔し、仮装した姿を見て頂きました。「かわいい」「すてき～」と声をかけていただき、利用者の皆さんは“知っている!”“やっぱりね♪”とニヤリ顔でした。利用者の皆さんで元気に「トリックオアトリート!」と言うと、地域連携室の皆さんから、とっても



素敵なアメ(折り紙)をいただきました。利用者の皆さんは、アメをギュッと握り、とっても嬉しそうに持って帰りました。

世間では現在もなお、さまざまなイベントが中止されています。それでも、通所支援では3密を避けて、ソーシャルディスタンスに気を付けながら、今後も楽しいイベントを計画していきたいと思っております♪

そして…、本号も追加のご報告があります。以前ニュースレターでもお伝えしました、今年度は通所支援事業の利用者さん全員で「第39回肢体不自由児・者美術展/デジタル写真展」へ応募しました。その審査結果が、先日届きました。結果は…「選外」で残念でした。しかし、参加賞をいただきました。とっても素敵な絵葉書でしたよ。来年は特賞を目指し、みんなで頑張りたいと思います!!(笑) そして、みんなの力作が戻ってきましたら、病院内・通所出入口にて展示会をしたいと思っています。ぜひ、皆さんにもご観覧頂けると嬉しいです。(主任児童指導員 丸澤 由美子)



## 異動のごあいさつ

(2020年12月1日付)



●小児科 宮田 光顕 先生

2020年7月より5か月間、本当にお世話になりました。最後まで皆様に迷惑かけっぱなしでしたが、まだまだ未熟なりに、成長させて頂いた実感があります。

慢性期チームでの8月怒涛の食物負荷試験祭り、急速経口免疫療法の児との経験も印象的でしたし、臨床研究

の入り口の入り口ですが、触れられたことも今後に繋がる貴重な経験でした。急性期チームで診療させていただいた患者様とのやりとりのひとつひとつも、外来での試行錯誤も、頂いた感謝のお手紙・折り紙も、忘れがたい大事なもののばかりです。そして、心から尊敬する先生方に出会うことができたことは何よりの幸運です。

5か月間はあまりに短い期間でしたが、三重病院で出会ったものを大事に、今後も励んでまいります。ありがとうございました。

## 医療安全便り 令和2年 Vol.17 北3病棟



2人で指差し呼称で確認しています!

同姓同名に注意し患者さんに名前を名乗ってもらっています

氏名・年齢・薬の種類・薬の容量・時間・投与方法・投与目的を確認し薬を投与しています

指さして 言葉にだして 確認を

北3病棟 副看護師長  
宮門 由佳